

通学路合同点検における危険箇所一覧

校区	NO	区分	場 所	通学路の状況・危険内容	視 点	事業主体	対 策 内 容
垂井小	1	継続	相川児童公園南 旧産婦人科 (垂井町1106付近)	木々や雑草で覆われている。時折、窓が開いているため、不審者が潜みやすい。計画的な伐採・除草の必要性を感じる。	防犯	垂井警察署	防犯パトロールを強化する。
						企画調整課	今後も引き続き状況を確認する。
						建設課	定期的に建物沿いの法面の除草を実施する。
	2	継続	中山道 八重垣神社南 (垂井町1241付近)	カラー舗装等の対策を実施済みであるものの、見通しが悪く、道が狭くなるところがある。引き続き、注意喚起や交通安全指導を継続する必要がある。	交通安全	垂井警察署	引き続き、速度違反の取締を実施する。
	3	新規	「追分橋」とその周辺道路	大きくカーブをしているため、登下校時、児童の様子が車道からは見えにくい。そのため、大変危険を感じている。	交通安全	建設課	今後、道路の線形の見直しについて検討する。
	4	継続	「垂井の泉」から21号線に向かう道路	「垂井の泉」から21号線に向かう道路について、カラー舗装がされているが、道幅が狭くなっており、登下校時に危険を感じる。ガードレールなどに「児童登下校中」など、なにか看板を付けてもらえるとありがたい。	交通安全	学校教育課	引き続き、交通安全指導を行う。
						大垣土木事務所	「通学路注意」の標識の向きを修正する。(令和7年8月実施済)
	5	継続	「垂井の泉」から北に向かった通りにある横断歩道	横断歩道の両脇に電信柱とポールがあるため、車道の道幅が狭くなっており、児童の登下校時に危険を感じる。	交通安全	学校教育課	引き続き、交通安全指導を行う。

校区	NO	区分	場 所	通学路の状況・危険内容	視 点	事業主体	対 策 内 容
宮代小	1	新規	宮代小学校北側道路と南宮大社前道路との交差点の横断歩道	朝晩の通行車両が多く速度も速い。令和6年1月に交通事故が発生した。	交通安全	建設課	「宮代地区ゾーン30プラス」により、カラー舗装と交差点ハンプを整備する。(令和7年8月実施済)。
	2	新規	宮代こども園東側道路と南宮大社から東へ向かう道路との交差点の横断歩道	朝晩の通行車両が多く速度も速い。家と家の間に並ぶため、集団で登下校している児童の姿が見えづらい。	交通安全	建設課	「宮代地区ゾーン30プラス」により、カラー舗装とスムーズ横断歩道を整備する。(令和7年8月実施済)。

校区	NO	区分	場 所	通学路の状況・危険内容	視 点	事業主体	対 策 内 容
表佐小	1	継続	県道228号(新町口～地蔵橋) (垂井町表佐4544付近)	・大型車の通行が多く、通行車両の速度も速い。令和6年4月に地蔵橋南交差点で交通事故が発生した。 ※現在、地蔵橋は通行止めである。	交通安全	大垣土木事務所	地蔵橋通行止めに伴い、西側にカラー舗装を行う。 (令和7年7月実施済)
	2	継続	(株)タワダ前横断歩道 (垂井町表佐1536-1)	・歩行者、車の双方から見通しが悪い。信号に向けて車が加速する。(令和5年度、ゾーン30プラス整備済)	交通安全	学校教育課	引き続き、交通安全指導を行う。
	3	新規	県道228号(新町口～綾戸交差点)	・大型車の通行が多く、通行車両の速度も速い。(令和6年度、垂井警察署が注意喚起看板設置) ・地蔵橋通行止めに伴い、東側と同様に西側にもカラー舗装をしていただきたい。	交通安全	大垣土木事務所	地蔵橋通行止めに伴い、西側にカラー舗装を行う。 (令和7年7月実施済)
	4	継続	旧JA表佐支店北の交差点 県道228号	・東西の交通量が多く、通行車両の速度も速い。(令和6年度、垂井警察署がポストコーン設置)	交通安全	学校教育課	引き続き、交通安全指導を行う。
	5	新規	県道228号(老人福祉センターから東へ150mの交差点)	・東西の交通量が多く、住宅に囲まれ見通しが悪い。令和7年6月に自転車と車両との接触事故が発生した。 ・すぐ西に横断歩道があるが、利用せずに県道を渡って北進している。横断歩道を移動できないか。	交通安全	大垣土木事務所	県道南側の外側線を復旧し、通学路として通行することを明確にする。
	6	継続	垂井町第二水源地の東側道路	カーブミラーが設置されているものの、歩行者も車も、双方からの見通しが悪い。	交通安全	垂井警察署 企画調整課	周辺施設等に対して、車両の出入りや通学時の安全確保等について注意喚起を行う。 道路沿いの電柱に、注意喚起看板の設置を検討する。

校区	NO	区分	場 所	通学路の状況・危険内容	視 点	事業主体	対 策 内 容
合原小	1	新規	県道栗原青野線 合原小学校 プール西～西脇三郎モータース 前あたりまで	比較的多くの児童が、ここを登下校で通るが、垂井から 養老町方面などへ抜けようとする車が、裏道としてよく 利用しており、スピードを出して通過する。ゾーン30や、 スピードを落とすための何らかの対処をしていただけると 安心である。	交通安全	垂井警察署 大垣土木事 務所	引き続き、速度違反の取締を実施する。 南北の横断歩道を強調するためのポストコーンを設 置する。

校区	NO	区分	場 所	通学路の状況・危険内容	視 点	事業主体	対 策 内 容
府 中 小	1	新規	北清水地区内 水路	柵がないため、児童が水路に落ちたことがあった。大雨の時は、水路から水があふれることもあり、大変危険である。	交通安全	建設課	他の対策箇所との優先順位を考慮しつつ、防護柵の設置の検討を行う。設置区間は、必要最小限とする。
	2	継続	府中簡易郵便局北交差点	東西に横断する児童が多いが、見通しが悪く横断歩道やカラー舗装が無いため、車道から交差点があることに気づきにくい。以前、児童の自転車と自動車の接触事故があった。	交通安全	学校教育課	歩行者用法定外標示「とまれ」を設置する。引き続き、交通安全指導を行う。
	3	継続	高瀬が丘地区内	ボールがたつたため、自転車は住宅地の中を迂回している。逆に住宅の陰で見通しが悪く、出会い頭の衝突の危険がある。	交通安全	建設課	自転車が通りやすいように、ポストコーンの設置位置を変更した。
	4	継続	高瀬が丘地区内東交差点	信号のない横断歩道を渡る。朝の通学時間帯に南北に走る車が多いため、横断の待機をする場所が狭いため危険。	交通安全	学校教育課	歩行者用法定外標示「とまれ」を設置する。引き続き、交通安全指導を行う。
	5	新規	清水交差点 町道 府中宮代線 町道 府中59号線	東西に県道を横断する児童が多いが、北横断歩道と清水公園東の横断歩道の間隔が長いいため、横断するためには、北上あるいは南下しなければならない。清水公園に行くときに使用する道路。	交通安全	学校教育課	引き続き、交通安全指導を行う。

校区	NO	区分	場 所	通学路の状況・危険内容	視 点	事業主体	対 策 内 容
岩手小	1	新規	理容まつかわ・岩手郵便局前の県道	児童が県道横断時、横断歩道もなく、見通しも悪いため、危険。横断歩道の設置、車がスピードを抑えるための対策を希望する。	交通安全	大垣土木事務所	カラー舗装や路面標示等による減速対策の実施を予定している。
	2	継続	漆原橋を通る東西の道路（漆原西交差点を北に行った地蔵小屋のある交差点付近）	登校時、抜け道として多数の車がかんりのスピードを落とさないまま通過するため、非常に危険。スピードを抑えるための対策や、通り抜けする車を減少させるための対策を希望する。	交通安全	企画調整課	道路沿いの電柱に、注意喚起看板の設置を検討する。
	3	継続	漆原の集落内の道路	道の幅が狭いのに関わらず、スピードを落とさない車が多く、とても危険。梅谷池田トンネル方面へ向かう車が集落内を通り抜けるのを防ぐための対策を希望する。	交通安全	企画調整課 建設課	道路沿いの電柱に、注意喚起看板の設置を検討する。 路肩に繁茂する雑草や樹木を撤去し、路肩の通学路を確保する。

校区	NO	区分	場 所	通学路の状況・危険内容	視 点	事業主体	対 策 内 容
東 小	1	継続	和田内科胃腸科前交差点	スクールゾーン30で横断歩道もあるが、東西を走る車のスピードが速い。西から来る車にとってカーブで見えづらいため、車のスピードを落とす対策がほしい。	交通安全	建設課	「東地区ゾーン30プラス」により、狭窄等の設置、区画線の修繕を実施する。
	2	新規	くの商店三叉路	今年度、自転車と自動車の接触事故が発生した。西進する車からは、路地から出てくる自転車等が見えづらい。危険箇所であることを知らせる対策を希望する。	交通安全	垂井警察署 建設課	一時停止の規制標識を建て替える。 自転車運転者に対する交通指導の取締りを強化する。 道路上の「T字マーク」を復旧する。
	3	新規	バロー西出入口交差点	交通量が多い。児童が南進して交差点を横断する際、西から交差点に入る車から見えづらい。児童が横断する交差点であることを示すカラー塗装等の対策を希望する。	交通安全	建設課 大垣土木事務所	区画線の修繕とポストコーンの設置を検討する。 県道の外側線を復旧する。
	4	新規	町道垂井綾戸線	北側車道の舗装が悪く、雨が降ると水がたまり、車両が通行するたびに登下校中の児童に水がかかる。	交通安全	建設課	道路の舗装修繕を検討する。
	5	継続	吉田木材北 南北道路	吉田木材駐車場から平尾地区に向けた道路で、側溝に蓋がないため危険である。側溝に蓋をするか、フェンスなどを設置していただくことを希望する。	交通安全	建設課	水路沿いに、防護柵を設置することを検討する。